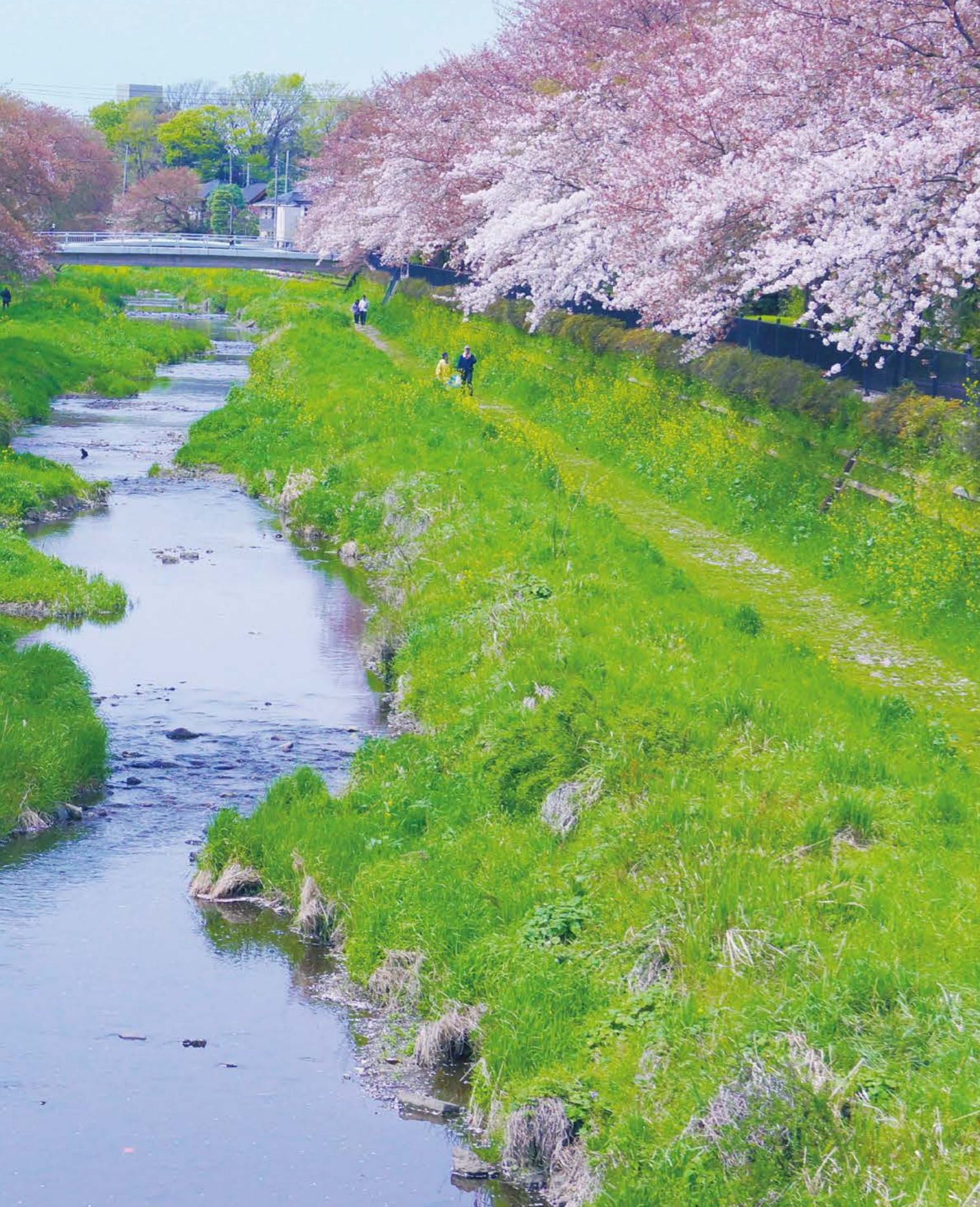


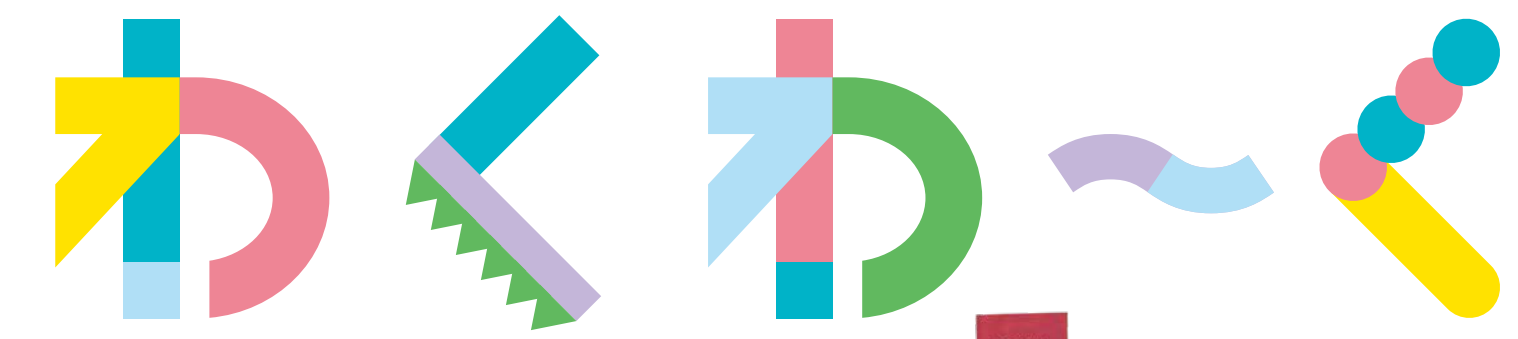
# バックアップ!



調布市福祉作業所等連絡会は、  
調布市内にある「障がいのある人の仕事や活動の場」  
(障害者総合支援法の就労継続支援B型事業所や生活介護等の  
サービスを実施する事業所)のほか、  
「障がいのある子どもの療育と放課後・余暇活動の場」  
(児童福祉法にもとづく放課後等デイサービス事業所等)などが加盟している団体です。  
「わくわく〜」は、障がいのある幅広い年齢層の人たちが  
「わくわくしながら働き、暮らせるよう」エールを贈りながら、  
一般市民の方々に福祉を知ってもらいたいと、春と秋の年2回、発行しています。  
制作には団体内の有志が編集委員として参加しています。  
今号は、前号に続き、福祉を応援して下さるの方々をご紹介しました。  
様々な形で応援くださる人がたくさんいるあたたかな文化を、  
これからも一緒に育んでいただけたら、嬉しく思います!



『わくわく〜 28号』2026年春発行 発行 | 調布市福祉作業所等連絡会  
調布市布田 2-26-8-101 TEL 042-481-3201 fuku-renaku@tbz.t-com.ne.jp  
編集 | 羽塚順子 (MotherNess Publishing) デザイン | 深瀬美帆 写真 | 出原れい



街中にまだいる! 熱き応援団  
**調布の福祉応援マップ**  
vol.2

# 調布の福祉を

福祉とは、私たちの「暮らしの幸せ」そのものを意味します。  
しかしそれは、一人では実現できません。  
市内のあちこちに、誰もが幸せに生き生きと暮らしていくことを願い、  
仕事を通して、地域の福祉を支え、応援してくれる方々がいます。  
前号に続き、そんな方々のバックアップをご紹介します!

撮影場所：春の野川



**チャリティバザーで応援!**

**1 株式会社 浜食**  
(多摩川 3-1-1)

「浜食祭りチャリティバザー」は、先代が始めた返礼品交換会をきっかけに、毎年12月第1日曜開催の恒例行事となり、51回目を迎えました。朝から楽しみに並んでくださるファンの方もいらして、野菜や賞味期限が近いお漬物など、1時間足らずで売り切れてしまいます。障害福祉課さんから毎年異なる2事業所を推薦いただき、60~70万円ほどの売上金を全額寄付させていただいています。「おかげでエアコンが設置できました」など、喜びのご報告を聞くと、社員総出で準備しながら続けてきて良かった!と思います。



餅つきもやっていますので、ご家族でどうぞ!

代表取締役 中村秀一郎さん  
坂井瑞輝さん



店内の黒板には自由にイラストやメッセージを描いてください!

**看板娘とお店で応援!**

**2 蕎麦とカフェひととき**  
(調布ヶ丘1-32-21)

私たち夫婦には、特別支援学校高等部に通うダウン症のある娘がいます。娘が卒業後も地域で暮らし続け、親亡き後も幸せに生きていけるようにと、娘が看板娘として働ける店を2025年に立ち上げました。店主は、趣味で蕎麦打ちしていたことに加え、深大寺そばの学校に1年通い、定年を機に妻である女将と店をオープンしました。福祉事業所で働く方々の工賃アップのため、店で提供する器等でできる限り事業所の手作り品にしています。4月27日から、ランチタイム後にカフェタイムも設け、事業所のスイーツを提供していきます。



市役所前の石碑と時計台を寄付させていただいています

**社会貢献活動で応援!**

**3 国際ソロプチミスト東京 - 調布**

アメリカのカリフォルニアで、100年以上前に女性の社会進出と地位向上を目指して設立された国際的女性奉仕団体ソロプチミスト。日本では1960年代に各地でクラブ数が増え、調布市には1994年から活動を行っている女性グループがあります。その奉仕活動内容は、福祉施設への継続寄付や、老人ホームを慰問してのお手伝い、障がい者施設にお花を提供して生け花を教えたり、チャリティコンサート開催、クリスマス会訪問など多岐にわたります。若い女性の方々にぜひ興味を持って参加いただけたら嬉しく思います。



ソロプチミストはラテン語で「女性に最良のもの」の意味です

**アート作品展示で応援!**

**4 株式会社 Panoma**  
(調布ヶ丘 4-35-1)

長年、病気で入院するお子さんのご家族が宿泊できるファミリーハウス「かんがる〜の家」を運営してきました。コロナ禍で利用される方が激減したので、民泊に転用、サイクリストのスペースとしてリニューアルした際、地域の方々が気軽に立ち寄れるスペースになればと、無料でリビングガレージを開放。そこに調布市のパラアート作品を飾らせていただくことにしました。3ヶ月に1回、社員と話し合っただけのテーマをファーストステップの利用者さんたちに描いてもらい、集まった作品から1枚を買っていただくコンテスト方式で継続しています。



素敵な作品が増えていまして、ぜひご鑑賞ください!

代表取締役 霞野一恵さん(写真右端)&Panomaの皆さん  
よしのりさん

**福祉施設の団体旅行で応援!**

**5 株式会社 セカンドツーリスト**  
(町田市木曾西 5-20-23)

調布市を中心に団体旅行営業に13年ほど携わり、2025年から多摩地区で福祉施設さんの団体旅行に特化した旅行業者として独立しました。ご担当職員の方と話し合いながら、観光バスに乗って非日常の体験や温泉、カラオケなどを楽しんでいただけるよう、尽力しております。嘘偽りなく接して下さる利用者の方々からの「楽しかったので来年もお願いします!」といったお手紙がとても嬉しいです。バリアフリー対応の宿がもっと日本に増えていくことを願いながら、これからもご満足いただける旅行をご提案していきたいと思っています。



利用者の方々の喜びがやがいです!

代表取締役 須藤俊二さん



<MAP制作にご協力いただいた皆様>  
電車イラスト&駅文字 | 和田晴生さん(NPO法人調布心身障害児者親の会びいす) イラスト色付 | 飛行機&カチンコオレンジ: 三谷玲央さん/スタジアム: 丹 宣真さん/深大寺: 小幡悦子さん/カチンコ黒: 浅野開陸さん(以上、NPO法人ファーストステップ)

**牛乳パックリサイクルで応援!**

**6 株式会社 山田洋治商店**  
(埼玉県新座市畑中 2-16-36)

私たちは60年前から古紙再生の循環型リサイクルに取り組んでいます。30年前に一人の主婦の方が「牛乳パックがもったいないから回収してリサイクルして欲しい」と呼びかけたことを機に弊社も参加。使い捨て時代から意識を変えようとする社会運動へと発展しました。弊社も今では牛乳パックが日本一集まる企業となり、現在ではアルミ付き紙パックも同時回収しています。調布市では福祉施設の皆さんが調布クリーンセンターさんに集めてくださる牛乳パックを回収させていただき、トイレトペーパーへの再生をお手伝いしています。



大勢の皆さんの回収協力を力にこれからも頑張ります

取締役部長 藤野真紀さん(写真左端)&山田洋治商店の皆さん

**ポスティング発注で応援!**

**7 田村産業有限会社**  
(深大寺東町 5-1-1)

父の代からGS(ガソリンスタンド)とカフェを営んでいます。調布JC(青年会議所)の仲間をめじろ作業所の方がいたので、障がい者の方に仕事が発注できると初めて知り、チラシのポスティングを3万枚お願いしたんです。僕もそうでしたが、多くの中小企業経営者は何の仕事も障がい者施設に発注できるかわからないので、もっと協業できる工夫ができればいいなと思っています。また、不登校やグレーゾーンの若者たちが増えていますが、どうすれば継続してうちでも一緒に働くことができるか、そんなことも前向きに取り組ませてもらっています。



地元企業の皆さんと福祉施設さんと協業しましょう!

代表取締役社長 田村慎太郎さん  
店長 川原田恵美子さん

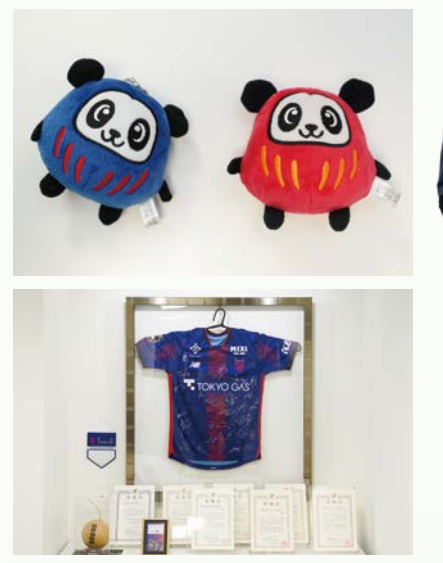


これからも美味しいカレーと物販で応援します!

**「ぱんだるま」で応援!**

**9 株式会社 渋谷不動産エージェンツ**  
(布田1-44-3 高橋ビル4F)

地域で愛されるオリジナルキャラクターをつくりたいと、誰からも愛されるパンダと深大寺のだるまをダブルモチーフに、2016年「赤ぱんだるま」を世に出しました。その後、子どもと福祉を応援する「青ぱんだるま」を仲間に加え、チャリティ企画で活躍してもらっています。昨年は、チャリティ販売した青ぱんだるまのぬいぐるみの売り上げを、二葉学園さんと調布市社会福祉協議会さんに全額寄付。販売会にお越しいただいた方には、ぴいさんの手作り菓子やぱんだるまグッズなどもプレゼントして、喜んでいただきました。



FC東京のサポーター様からいただいたゲートフラッグです!

小谷絵梨さん  
大槻陽子さん



描いてつくって歌って踊って! パラアートを楽しもう!

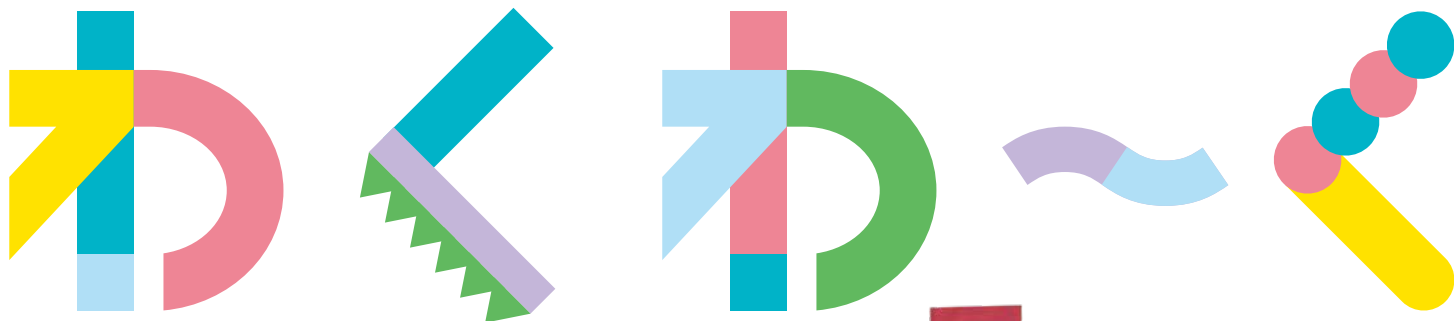
代表 師井栄治さん

**パラアート活動で応援!**

**10 調布美術研究所・点と未来デザインラボラトリー**  
(染地 3-1 815 2F)

40年以上前から調布でアトリエと美術教室を開き、2024年にコープ調布染地店の2階に引っ越しました。「調布パラアート展」のコーディネーターをさせていただいた経験も含め、「点と未来デザインラボラトリー」として、障がい者アートの価値を伝えていく活動に取り組んでいます。障がい者アートはパワーとインパクトが素晴らしいからね!魅力あるまちづくりは、アート活動そのものです。絵や造形はもちろん、音楽やダンス、パフォーマンスも楽しむ仲間を増やしながら、若者たちに繋いでいきたいと思っています。





# 街中にまだいる！熱き応援団 調布の福祉応援マップ

# 調布の福祉を

福祉とは、私たちの「暮らしの幸せ」そのものを意味します。

しかしそれは、一人では実現できません。

市内のあちこちに、誰もが幸せに生き生きと暮らしていくことを願い、  
仕事を通して、地域の福祉を支え、応援してくれる方々がいます。

前号に続き、そんな方々のバックアップをご紹介します！

撮影場所：春の野川



Supporting Welfare in Chofu!

# バックアップ!



## チャリティバザーで応援!

### 1 株式会社 浜食 (多摩川 3-1-1)

「浜食祭りチャリティバザー」は、先代が始めた返礼品交換会をきっかけに、毎年12月第1日曜開催の恒例行事となり、51回目を迎えました。朝から楽しみに並んでくださるファンの方もいらして、野菜や賞味期限が近いお漬物など、1時間足らずで売り切れてしまいます。障害福祉課さんから毎年異なる2事業所を推薦いただき、60~70万円ほどの売上金を全額寄付させていただいています。「おかげでエアコンが設置できました」など、喜びのご報告を聞くと、社員総出で準備しながら続けてきて良かった!と思います。



代表取締役 中村秀一郎さん  
坂井瑞輝さん

店内の黒板には自由にイラストやメッセージを描いてください!



山田英史さん

容子さん



## 看板娘とお店で応援!

### 2 蕎麦とカフェひととき (調布ヶ丘1-32-21)



私たち夫婦には、特別支援学校高等部に通うダウン症のある娘がいます。娘が卒業後も地域で暮らし続け、親亡き後も幸せに生きていけるようにと、娘が看板娘として働ける店を2025年に立ち上げました。店主は、趣味で蕎麦打ちしていたことに加え、深大寺そばの学校に1年通い、定年を機に妻である女将と店をオープンしました。福祉事業所で働く方々の工賃アップのため、店で提供する器等できる限り事業所の手作りにしています。4月27日から、ランチタイム後にカフェタイムも設け、事業所のスイーツを提供していきます。

## 社会貢献活動で応援!

### 3 国際ソロプチミスト東京 - 調布

アメリカのカリフォルニアで、100年以上前に女性の社会進出と地位向上を目指して設立された国際的女性奉仕団体ソロプチミスト。日本では1960年代に各地でクラブ数が増え、調布市には1994年から活動を続けている女性グループがあります。その奉仕活動内容は、福祉施設への継続寄付や、老人ホームを慰問してのお手伝い、障がい者施設にお花を提供して生け花を教えたり、チャリティコンサート開催、クリスマス会訪問など多岐にわたります。若い女性の方々にもぜひ興味を持って参加いただけたら嬉しく思います。



ソロプチミストはラテン語で「女性に最良のもの」の意味です

市役所前の石碑と時計台を寄付させていただいています



## アート作品展示で応援!

### 4 株式会社 Panoma (調布ヶ丘 4-35-1)

長年、病気で入院するお子さんのご家族が宿泊できるファミリーハウス「かんがる〜の家」を運営してきました。コロナ禍で利用される方が激減したので、民泊に転用、サイクリストのスペースとしてリニューアルした際、地域の方々が気軽に立ち寄れるスペースになればと、無料でリビングガレージを開放。そこに調布市のパラアート作品を飾らせていただくことにしました。3ヶ月に1回、社員と話し合って決めたテーマをファーストステップの利用者さんたちに描いてもらい、集まった作品から1枚を買い取らせていただくコンテスト方式で継続しています。



素敵な作品が増えていますので、ぜひご鑑賞ください!



代表取締役  
葭野一恵さん(写真右端)&Panomaの皆さん  
よしのひとえ



# 福祉応援MAP



<MAP制作にご協力いただいた皆様>

電車イラスト&駅文字 | 和田晴生さん(NPO法人調布心身障害児・者親の会びいす) イラスト色付 | 飛行機&カチンコオレンジ: 三谷玲央さん/スタジアム: 丹 宣真さん/深大寺: 小幡悦子さん/カチンコ黒: 浅野開陸さん(以上、NPO法人ファーストステップ)

## 福祉施設の団体旅行で応援!

### 5 株式会社 セカンドツーリスト (町田市木曾西 5-20-23)

調布市を中心に団体旅行営業に13年ほど携わり、2025年から多摩地区で福祉施設さんの団体旅行に特化した旅行業者として独立しました。ご担当職員の方と話し合いながら、観光バスに乗って非日常の体験や温泉、カラオケなどを楽しんでいただけるよう、尽力しております。嘘偽りなく接してくださる利用者の方々からの「楽しかったので来年もお願いします」といったお手紙がとても嬉しいです。バリアフリー対応の宿がもっと日本に増えていくことを願いながら、これからもご満足いただける旅行をご提案していきたいと思っています。



利用者の方々の喜びがやりにいです!



代表取締役  
須藤俊二さん

# MAP in 調布

## vol.2

牛乳パックリサイクルで応援!



### 6 株式会社 山田洋治商店 (埼玉県新座市畑中 2-16-36)

私たちは60年前から古紙再生の循環型リサイクルに取り組んでいます。30年前に一人の主婦の方が「牛乳パックがもったいないから回収してリサイクルして欲しい」と呼びかけたことを機に弊社も参加。使い捨て時代から意識を変えようとする社会運動へと発展しました。弊社も今では牛乳パックが日本一集まる企業となり、現在ではアルミ付き紙パックも同時回収しています。調布市では福祉施設の皆さんが調布クリーンセンターさんに集めてくださる牛乳パックを回収させていただき、トイレトペーパーへの再生をお手伝いしています。



大勢の皆さんの回収協力を力に  
これからも頑張ります

取締役部長 藤野真紀さん(写真左端)  
& 山田洋治商店の皆さん



地元企業の皆さんと  
福祉施設さんと協業しましょう!

ポスティング発注で応援!

### 7 田村産業有限会社 (深大寺東町 5-1-1)

父の代からGS(ガソリンスタンド)とカフェを営んでいます。調布JC(青年会議所)の仲間をめじる作業所の方がいたので、障がい者の方に仕事が発注できると初めて知り、チラシのポスティングを3万枚お願いしたんです。僕もそうでしたが、多くの中小企業経営者は何の仕事も障がい者施設に発注できるかわからないので、もっと協業できる工夫ができたらいいなと思っています。また、不登校やグレーゾーンの若者たちが増えています。どうすれば継続してうちでも一緒に働くことができるか、そんなことも前向きに取り組ませてもらっています。



代表取締役社長 田村慎太郎さん



店長 川原田恵美子さん

これからも美味しいカレーと物販で応援します！

(写真中央) 統括支配人・坪井秀克さん  
(写真右) 営業支配人・土橋忠幸さん  
& クレストンホテルの皆さん



## チャリティカレーイベントで応援！

### 8 クレストンホテル (小島町1-38-1 調布パルコ 8F-10F)

2002年、当時の支配人が福祉施設に通う方をご招待してテーブルマナーをお教えしたところ、とても喜んでいただきました。それを機に、もっと福祉施設さんのことを地域のお客様に知っていただこうと、大宴会場で販売会を開催するようになったんです。当初は「百円カレー」のチャリティイベントが盛況だったので、全社員で工夫を重ねながら取り組むようになりました。

毎年8月第1週目、施設商品の物販とカレーをセットに、厨房スタッフは200食のカレーを作り、営業スタッフは募金箱を持ちながら、売り上げは社協さんに寄付をさせていただきます。

## 「ぱんだるま」で応援！

### 9 株式会社 渋谷不動産エージェンツ (布田1-44-3 高橋ビル4F)

地域で愛されるオリジナルキャラクターをつくりたいと、誰からも愛されるパンダと深大寺のだるまをダブルモチーフに、2016年「赤ぱんだるま」を世に出しました。その後、子どもと福祉を応援する「青ぱんだるま」を仲間に加え、チャリティ企画で活躍してもらっています。昨年は、チャリティ販売した青ぱんだるまのぬいぐるみの売り上げを、二葉学園さんと調布市社会福祉協議会さんに全額寄付。販売会にお越しいただいた方には、ぴいすさんの手づくり菓子やぱんだるまグッズなどもプレゼントして、喜んでいただきました。



FC東京のサポーター様からいただいたゲートフラッグです！



小谷絵梨さん

大槻陽子さん

描いてつくって歌って踊って！  
パラアートを楽しもう！



代表 師井栄治さん

## パラアート活動で応援！

### 10 調布美術研究所・点と未来デザインラボラトリー (染地3-1 815 2F)

40年以上前から調布でアトリエと美術教室を開き、2024年にコープ調布染地店の2階に引っ越しました。「調布パラアート展」のコーディネーターをさせていただいた経験も含め、「点と未来デザインラボラトリー」として、障がい者アートの価値を伝えていく活動に取り組んでいます。障がい者アートはパワーとインパクトが素晴らしいからね！魅力あるまちづくりは、アート活動そのものです。絵や造形はもちろん、音楽やダンス、パフォーマンスも楽しむ仲間を増やしなが、若者たちに繋いでいきたいと思っています。



調布市福祉作業所等連絡会は、  
調布市内にある「障がいのある人の仕事や活動の場」  
(障害者総合支援法の就労継続支援B型事業所や生活介護等の  
サービスを実施する事業所)のほか、  
「障がいのある子どもの療育と放課後・余暇活動の場」  
(児童福祉法にもとづく放課後等デイサービス事業所等)などが加盟している団体です。  
『わくわ〜く』は、障がいのある幅広い年齢層の人たちが  
「わくわくしながら働き、暮らせるよう」エールを贈りながら、  
一般市民の方々に福祉を知ってもらいたいと、春と秋の年2回、発行しています。  
制作には団体内の有志が編集委員として参加しています。  
今号は、前号に続き、福祉を応援して下さる方々をご紹介します。  
様々な形で応援くださる人がたくさんいるあたたかな文化を、  
これからも一緒に育んでいただけたら、嬉しく思います！

